

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第36週(令和6年9月2日～令和6年9月8日)

<発生動向>

今週は、結核の報告が8件ありました。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。結核を発症しても、早期に発見することで、大切な家族や友人等への感染を防ぐことができます。2週間以上、咳や痰が続くときは医療機関を受診しましょう。また、年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	141	17	620	257	10,161
腸管出血性大腸菌感染症	1	25	5	110	139	2,209
レジオネラ症	1	10	2	46	43	1,437
後天性免疫不全症候群	1	6	3	40	8	659
梅毒	4	112	24	579	228	9,513
百日咳	1	4	5	75	92	1,317

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	110	3.14	4.31	598	3.02	36,891	7.46
インフルエンザ	3	0.09	0.46	37	0.19	1,874	0.38
RSウイルス感染症	10	0.42	0.42	94	0.78	2,039	0.65
咽頭結膜熱	7	0.29	0.29	38	0.32	823	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	2.00	444	3.70	5,501	1.75
感染性胃腸炎	95	3.96	3.79	398	3.32	8,241	2.63
水痘	3	0.13	0.08	47	0.39	385	0.12
手足口病	97	4.04	3.67	622	5.18	17,872	5.70
伝染性紅斑	0	0.00	0.21	2	0.02	500	0.16
突発性発しん	7	0.29	0.29	42	0.35	924	0.29
ヘルパンギーナ	16	0.67	0.54	91	0.76	2,561	0.82
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.08	5	0.04	112	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	1	0.04	13	0.02
流行性角結膜炎	1	0.17	0.17	8	0.31	329	0.47
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	15	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	1.00	27	1.80	569	1.18
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	2	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	3	0.01

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

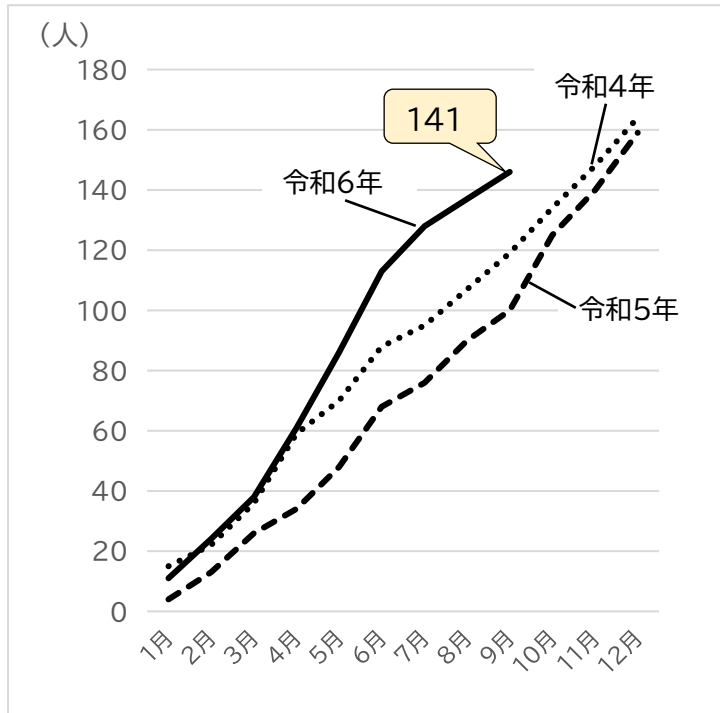
※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報に掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

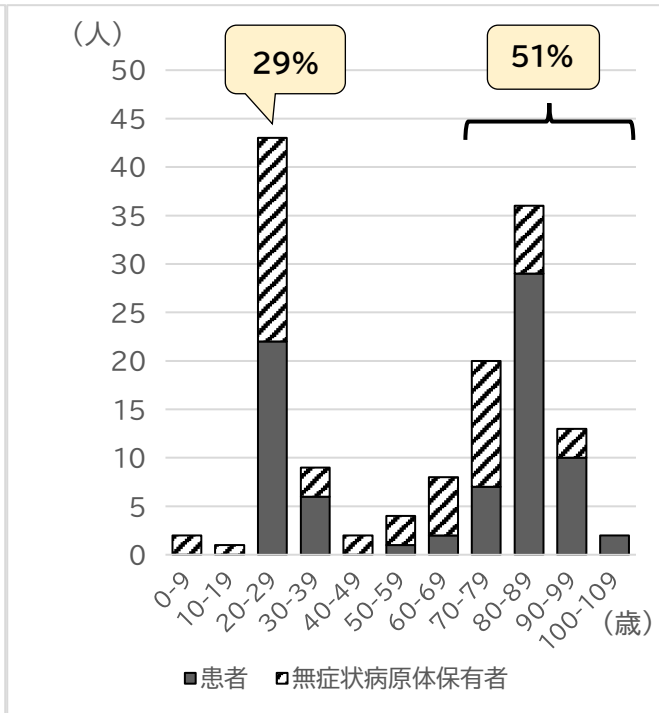
結核の報告数が増加しています

令和4年は164人、令和5年は164人でしたが、令和6年は第36週時点で既に141人になっています。令和6年1月以降に報告された結核患者および無症状病原体保有者について、概要をお示しします。

北九州市の年別結核報告数



年齢別結核報告数 (令和6年第1週~36週)



70歳以上の高齢者の割合が多くなっていますが、今年は20代の報告数が増えています。令和5年は70歳以上が全体の約70%、30歳未満が全体の13%でしたが、令和6年は36週時点で70歳以上が全体の51%、20代のみで全体の29%を占めています。せきや痰などの症状が2週間以上続くときは、内科（専門は呼吸器科）を受診し、胸部エックス線検査を受けましょう。

症状がなくても...

年に1回は、職場等の健診で胸部レントゲンを受けましょう。


結核・肺がん検診

北九州市 結核予防週間

検索

● 対象者 ● (費用: 無料)

北九州市内にお住まいで、職場などで胸部X線検査を受ける機会のない40歳以上の方(特に65歳以上の方は法令上の結核検診対象者となっています)



北九州市
集団検診
の
予約方法

